

DO デジタルオブザーバトリ研究推進機構

第2回フォーラム

DO 技術の生成AI活用による進展と サプライチェーンレジリエンスへの展望

本機構は、多様な社会・経済活動のデータ観測とその利活用によるレジリエントな社会の実現を目指して昨年度発足し、2023年10月に設立記念フォーラムを開催いたしました。

以来、本機構では、実世界データの観測・分析と生成AIを連携したDO (Digital Observatory) 技術を開発し、データ観測に基づく社会リスクの把握、予兆発見の研究に取り組んでいます。

今回開催の第2回フォーラムでは、研究発表として、東京大学において全学的な視野で組成した9つの研究グループで進めてきたこれらの学際的取り組みの成果を共有すると共に、サプライチェーンの実務・政策に関わる有識者によるパネル討論を行い、将来課題について展望します。

第2部においては、研究成果に関するポスター発表を行い、中長期的な取り組みに向けて、課題・ユースケース抽出から社会実装・ビジネス機会となる連携企業・機関を探索することを目的に、ネットワーキングセッションを開催します。

2025. **3.17** Mon 13:30 開始

[会場] 東京大学 本郷キャンパス 山上会館2階 大会議室 [オンライン] Zoomウェビナー

[主催] 東京大学デジタルオブザーバトリ研究推進機構・日立製作所(共催)

第2回フォーラム

DO 技術の生成AI活用による進展と サプライチェーンレジリエンスへの展望

プログラム

※プログラム内容は今後変更になる可能性があります。

第1部：研究発表、パネルディスカッション 山上会館2F大会議室

[開会挨拶]

13:30～13:40 (10min)

喜連川 優 (東京大学 デジタルオブザーバトリ研究推進機構 機構長)

阿部 淳 (日立製作所 執行役副社長)

[研究発表 (前半)]

13:40～14:55 (75min)

前半5チームの発表

----- 休憩(5分) -----

[研究発表 (後半)]

15:00～16:00 (60min)

後半4チームの発表

----- 休憩(5分) -----

[パネルディスカッション]

16:05～17:05 (60min)

テーマ：「サプライチェーンレジリエンスに向けた「データ×生成AI」への期待と展望」

モデレータ 豊田 正史 (東京大学 デジタルオブザーバトリ研究推進機構 副機構長)

喜連川 優 (東京大学 デジタルオブザーバトリ研究推進機構 機構長)

関係省庁政策担当者

西澤 格 (日立製作所 執行役常務 CTO)

藤原 輝嘉 (一般社団法人 自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター (ABtC) 代表理事)

村山 昌史 (日立製作所 バリュー・インテグレーション統括本部 Executive Advisor)

[閉会挨拶]

17:05～17:10 (5min)

齊藤 延人 (東京大学 理事・副学長)

第2部：ポスター展示・ネットワーキングセッション 山上会館1F談話ホール

[ポスター展示・ネットワーキングセッション]

17:15～19:15 (120min)

参加事前登録：登録必要 (参加費無料)

申込締切：現地参加 **3月10日** (月) / オンライン参加 **3月14日** (金) 正午

<https://inst-do.adm.u-tokyo.ac.jp/news/20250213.html>

お申し込みはこちらからお願いします。

[お問い合わせ]

参加登録に関する問い合わせ

参加登録事務局：ut-event@graffiti97.co.jp

その他、フォーラム全般に関する問い合わせ

国立大学法人東京大学 産学協創部：kyoso-info.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

※メールの件名の冒頭に【DO研究推進機構】と記載をお願いします。